



DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「九州における『日本の棚田百選』」と「国産アナゴ類の漁獲量」です。



提供：産山村役場



九州における「日本の棚田百選」

検索

国産アナゴ類の漁獲量

検索





九州における「日本の棚田百選」

日本各地には、山の斜面などの傾斜地に、階段状につくられた水田（棚田）が1千余ほどあり、棚田は大切な農業生産の場であるとともに、棚田が映し出す四季折々の風景の美しさは、人々の心に潤いと安らぎを与えています。この美しい棚田の風景を残すことを目的に、農林水産省は平成11年7月、全国134地区（117市町村）の棚田を「日本の棚田百選」として認定（※1）（※2）しました。その「日本の棚田百選」に認定された棚田の数を都道府県別にみると、熊本県と宮崎県が長野県に次ぐ第2位となっているほか、九州の県が上位を占めています。

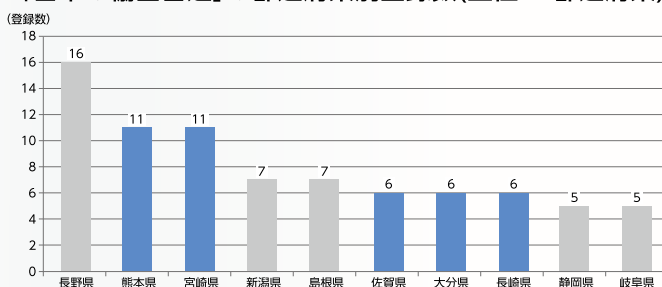
なかでも、熊本県阿蘇郡産山村の「扇棚田」は、16枚（段）と百選の中で最も少ない枚（段）数ながらも、高原の中に扇状に広がった水田と3本の杉の木が特徴で、美しい風景を見せてくれています。

棚田は、平坦地の水田と比較して経済効率性が低く、過疎化の進展と、農業従事者の高齢化等と相まって、近年は耕作放棄された棚田の荒廃が進み、存亡の危機に直面しています。そこで棚田の保全につながるためのプロジェクトが日本各地で立ち上がり、棚田米の消費推進等の運動が盛んになっています。

（※1）「日本の棚田百選」に認定される棚田とは、傾斜度が20分の1（水平距離を20メートル進んで1メートル高くなる傾斜）以上の水田と定義されている。

（※2）認定された棚田は、一般社団法人 地域環境資源センターのホームページ（<http://www.acres.or.jp>）を参照。

「日本の棚田百選」の都道府県別登録数(上位10都道府県)



（出所：農林水産省が選定した「日本の棚田百選」を基にFFGビジネスコンサルティング作成）



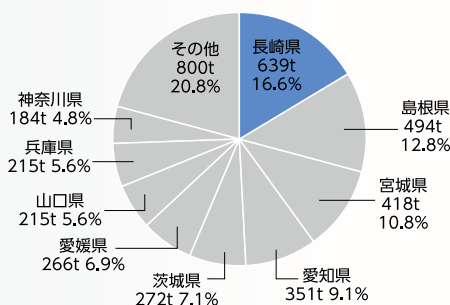
国産アナゴ類の漁獲量

寿司ネタやてんぷらで人気の高いアナゴは、近年、韓国産を中心とした輸入物の流通が多くなっていますが、品質の良い国産アナゴは寿司店や料亭等で根強い人気を誇っています。その国産アナゴについて都道府県別に漁獲量をみると、長崎県が全国1位となっています。

長崎県対馬近海は国内有数のアナゴの産地であり、古くからアナゴを傷つけないよう一尾一尾を生け捕りにする「かご漁」が盛んで、品質の良い国産アナゴの供給に役買っています。また長崎県の沿岸海域は自然環境にも恵まれており、特に対馬の西沖はアナゴの餌となるイワシやイカ等が豊富で、対馬海流の速い潮の中で育ったアナゴは肉厚で身が引き締まっている等の特長があります。

アナゴは脂肪分がうなぎの約半分と低カロリーでヘルシーながら、免疫力を高めるビタミンAや、高血圧を予防するカリウム等を他の魚と比較して多く含む等、栄養価が高く、うなぎと同様にこれからの暑い季節のスタミナ源としても重宝されそうです。

国産アナゴ類の漁獲量



（出所：農林水産省「平成27年漁業・養殖業生産統計」を基にFFGビジネスコンサルティング作成）

福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 持ち直している

福岡県の景気は、生産活動において持ち直しの動きが続いているほか、個人消費についても底堅い状況にある等、総じてみると持ち直しています。

住宅建設は2ヵ月連続で前年を下回ったものの、生産活動は、トランジスタが増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、引き続き高い水準を維持しており、個人消費についても、化粧品が好調を維持する等、底堅く推移しています。また、公共工事も4ヵ月連続で前年を上回りました。

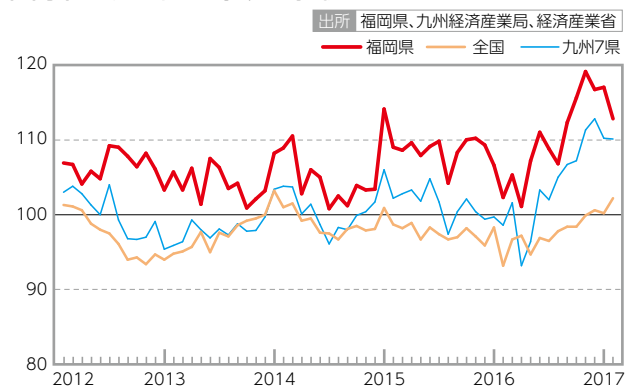
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 持ち直しの動きが続いている

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は112.8と前月比3.6%低下しました。

主要業種では、四輪自動車の生産が減少した輸送機械は低下したものの、トランジスタが増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、生産は引き続き高い水準を維持しており、持ち直しの動きが続いています。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)



2.個人消費 | 底堅く推移している

3月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.6%減の551億円となりました。

気温の低い日が続いた影響により春物衣料が振るわず、衣料品は前年を下回ったものの、化粧品が好調を維持する等、個人消費は底堅く推移しています。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



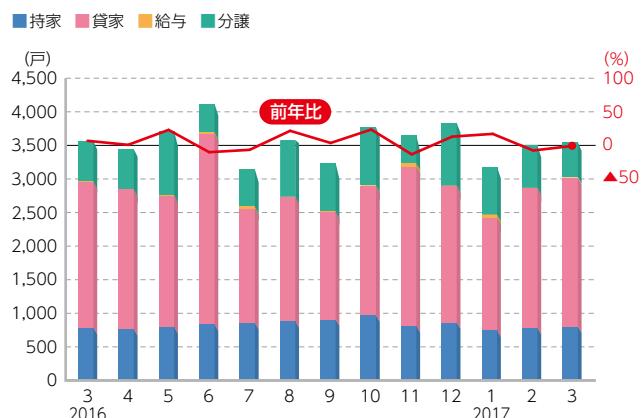
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を下回る

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比0.6%減の3,574戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも2ヵ月連続で前年を下回りました。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



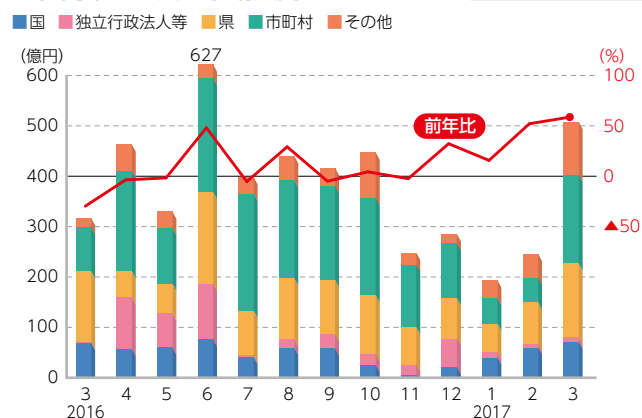
4.公共工事 | 4ヵ月連続で前年を上回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比24.6%増の987件、金額が同60.5%増の512億円となりました。

発注者別では、下水道設備工事の大型案件があった「市町村」や、鉄道工事の大型案件があった「その他公共的団体」が前年を大きく上回り、全体でも4ヵ月連続で前年を上回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比16.0%減の21件、負債総額は同49.8%減の約18億円となりました。

不動産業で約5億円の倒産が発生したほか、電気機器設計業で3億円の倒産が発生しましたが、倒産件数、負債総額ともに前年を下回りました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復している

熊本県の景気は、熊本地震からの復興が続くなかで、緩やかに回復しています。

生産活動は、集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、回復の動きが続いており、個人消費についても、地震からの復興需要の継続等を背景に持ち直しの動きが続いています。また、住宅建設及び公共工事も復興需要等を背景に前年を上回る状況が続いています。

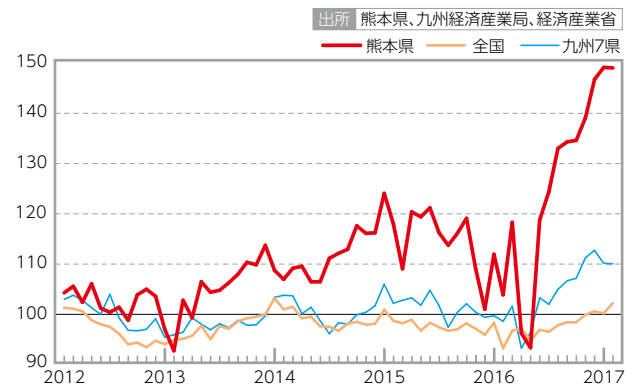
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 回復の動きが続いている

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は149.3と前月比0.1%低下しました。

主要業種では、特殊産業機械の生産が減少したはん用・生産用機械は低下したものの、集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、旺盛な海外需要等を背景に、生産は回復の動きが続いています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

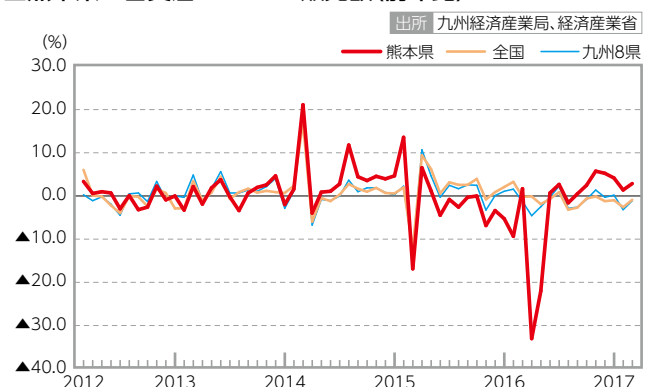


2.個人消費 | 持ち直しの動きが続いている

3月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.9%増の137億円となりました。

熊本地震からの復興需要の継続等を背景に、主力の飲食料品が好調だった他、化粧品等が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きが続いています。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



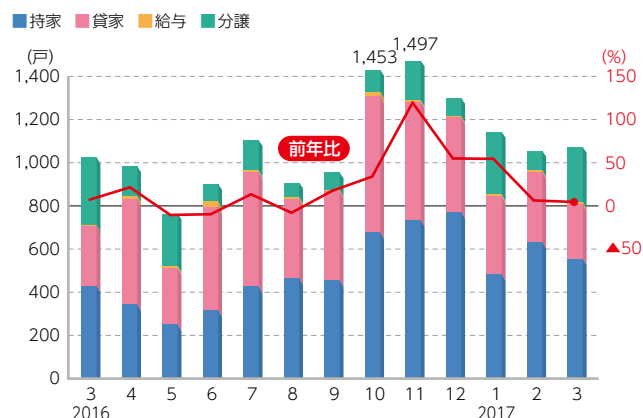
3.住宅建設 | 7ヵ月連続で前年を上回る

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.6%増の1,090戸となりました。

「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回ったものの、「持家」「給与」が前年を上回り、全体でも7ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



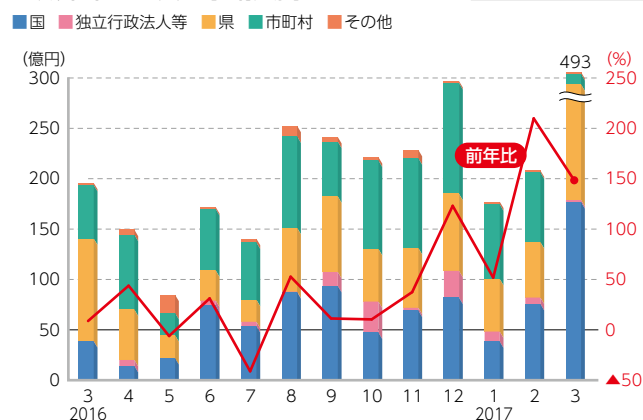
4.公共工事 | 8ヵ月連続で前年を上回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比103.0%増の1,011件、金額が同149.6%増の493億円となりました。

災害復旧工事の大型案件があった「国」や、橋梁工事の大型案件があった「県」等が前年を大きく上回り、全体でも8ヵ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



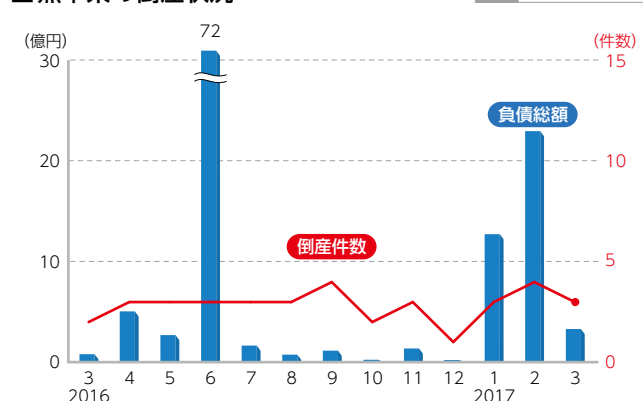
5.企業倒産 | 3ヵ月連続で前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%増の3件、負債総額は約3億円となりました。

水産加工業で約2億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 底堅く推移している

長崎県の景気は、個人消費が弱いものの、生産活動は持ち直している状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

個人消費は主力の衣料品が前年を下回る等、弱含んでいます。一方で、生産活動はボイラが増産となったはん用・生産用機械が上昇する等、持ち直しの動きがみられるほか、住宅建設及び公共工事も前年を上回る状況が続いています。

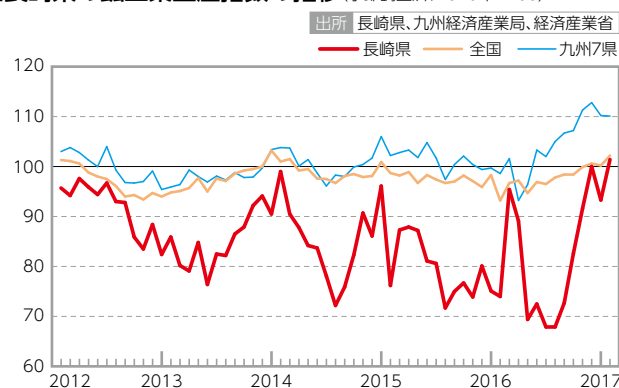
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 持ち直しの動きがみられる

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は101.4と前月比8.7%上昇しました。

主要業種では、交流発電機が増産となった電気機械や、ボイラの生産が増加したはん用・生産用機械が上昇する等、生産は持ち直しの動きがみられます。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

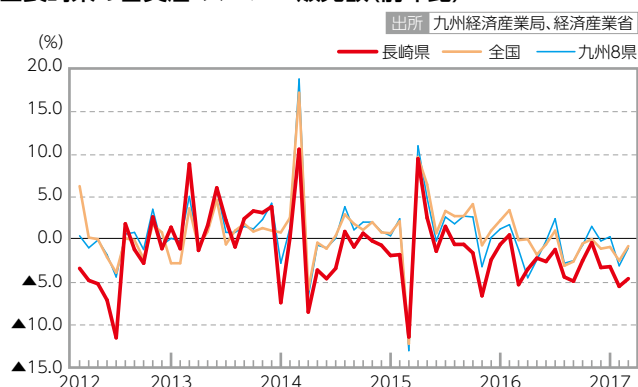


2. 個人消費 | 弱含んでいる

3月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.7%減の85億円となりました。

気温の低い日が続いた影響により春物衣料が振るわず、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





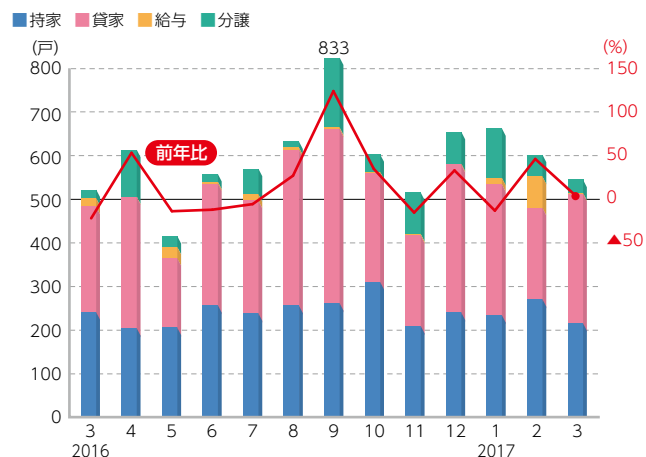
3.住宅建設 | 2ヵ月連続で前年を上回る

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.4%増の550戸となりました。

「持家」「給与」が前年を下回ったものの、「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体でも2ヵ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



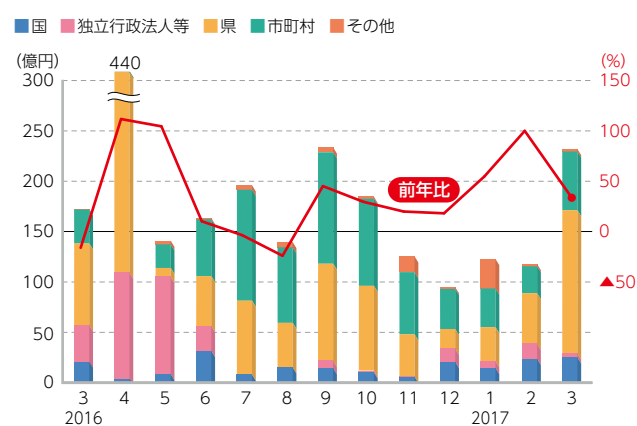
4.公共工事 | 7ヵ月連続で前年を上回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比37.6%増の384件、金額が同34.4%増の234億円となりました。

発注者別では、道路改良工事の大型案件があった「県」や、港湾整備工事があった「市町村」等が前年を上回り、全体でも7ヵ月連続で前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 2ヵ月ぶりに前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%増の3件、負債総額は約55億円となりました。

ホテルで37億円の大型倒産が発生したほか、テーマパークで約14億円の大型倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 底堅く推移している

佐賀県の景気は、主要指標である生産活動と個人消費がともに底堅い状況にある等、総じて底堅く推移しています。

住宅建設は4ヵ月ぶりに前年を下回ったものの、生産活動は医薬品が増産となった化学が上昇する等、底堅く推移しており、個人消費についても、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、底堅く推移しています。また、公共工事についても前年を上回る状況が続いています。

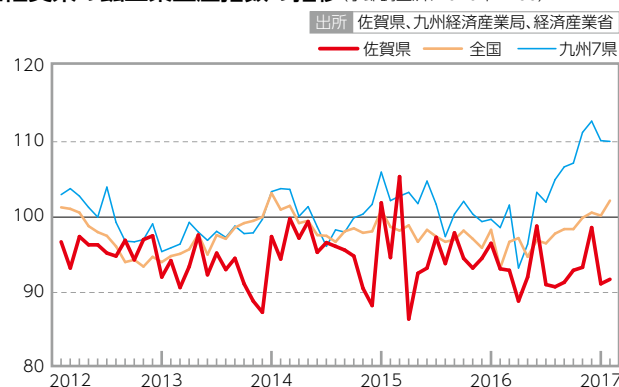
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.7と前月比0.7%上昇しました。

主要業種では、菓子の生産が減少した食料品は低下したものの、医薬品が増産となった化学が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

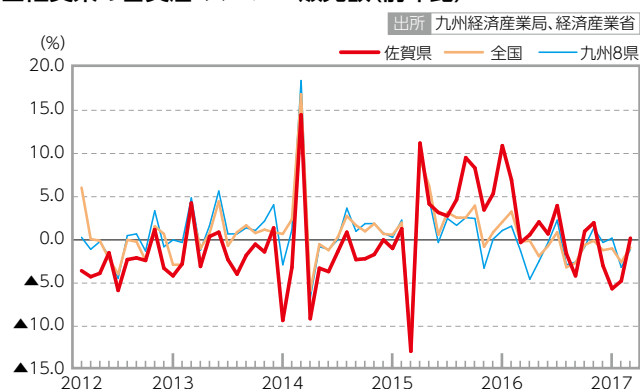


2.個人消費 | 底堅く推移している

3月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.2%増の52億円となりました。

気温の低い日が続いた影響により春物衣料が振るわず、衣料品は前年を下回ったものの、化粧品や宝飾品などの高額品が前年を上回る等、個人消費は底堅く推移しています。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





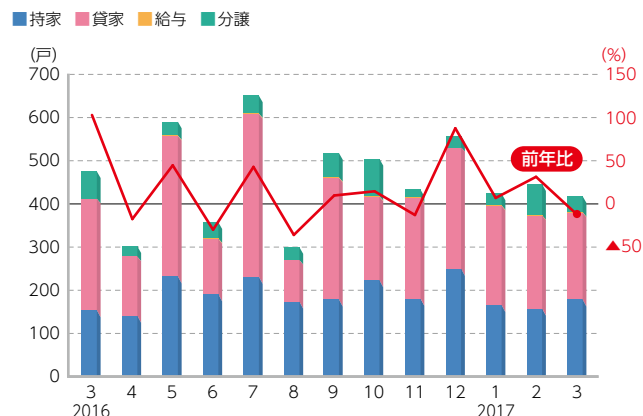
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比12.1%減の421戸となりました。

「持家」「給与」「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「貸家」「分譲(マンション)」が前年を下回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



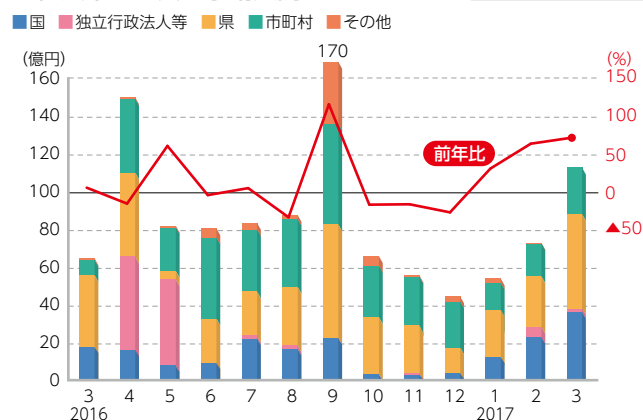
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を上回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比85.6%増の336件、金額が同74.3%増の113億円となりました。

発注者別では、道路改良工事があった「国」や、学校改築工事があった「市町村」等が前年を上回り、全体でも3ヵ月連続で前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



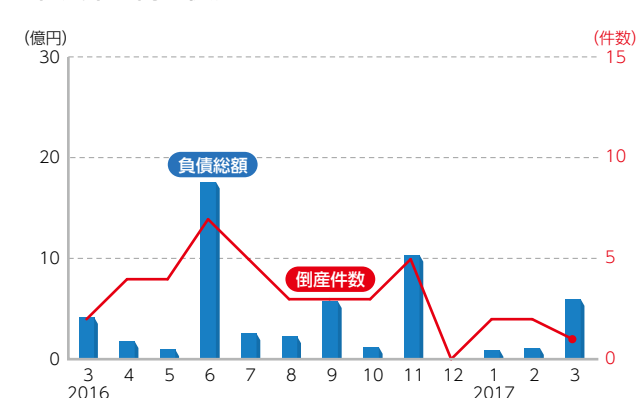
5.企業倒産 | 4ヵ月ぶりに前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比50.0%減の1件、負債総額は同42.9%増の6億円となりました。

通信機器製造業で6億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



大分県の最近の経済動向

大分県の景気 | 底堅く推移している

大分県の景気は、個人消費が弱い状況にあるものの、生産活動は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

個人消費は主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、弱含んでいるほか、住宅建設についても4ヵ月ぶりに前年を下回りました。一方で、生産活動は鋼船が増産となった輸送機械が上昇する等、底堅く推移しており、公共工事についても前年を上回る状況が続いています。

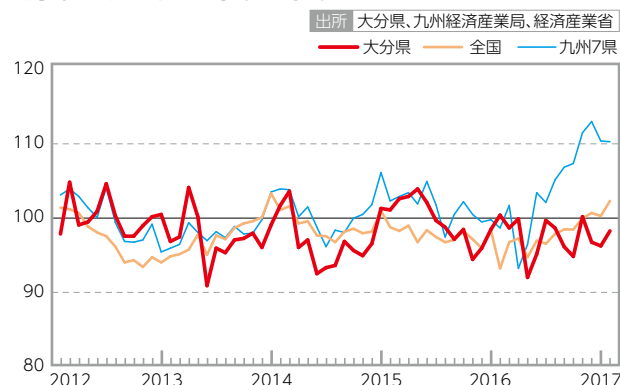
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.2と前月比2.1%上昇しました。

主要業種では、ビールの生産が減少した食料品は低下したものの、鋼船が増産となった輸送機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

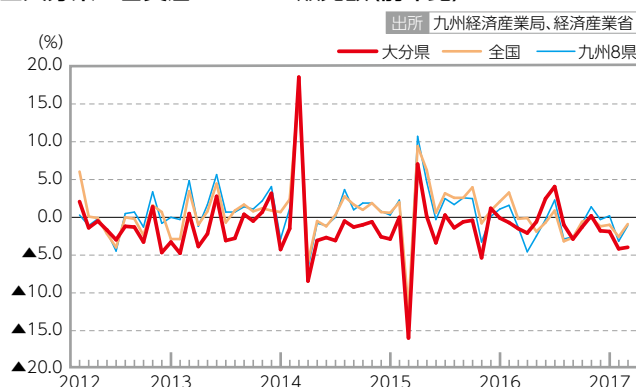


2.個人消費 | 弱含んでいる

3月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比4.0%減の90億円となりました。

気温の低い日が続いた影響により春物衣料が振るわず、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





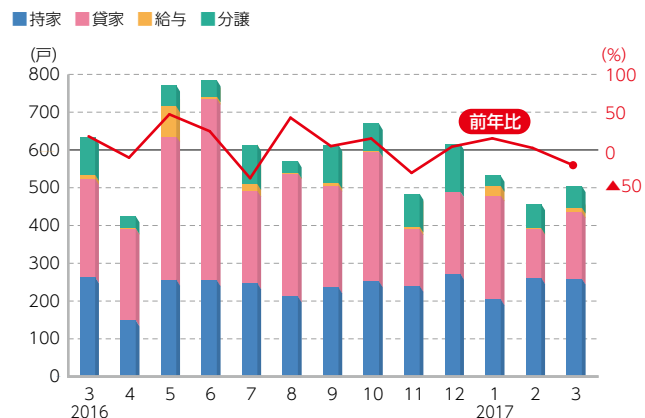
3.住宅建設 | 4ヵ月ぶりに前年を下回る

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比21.0%減の503戸となりました。

「給与」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲」が前年を下回り、全体でも4ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



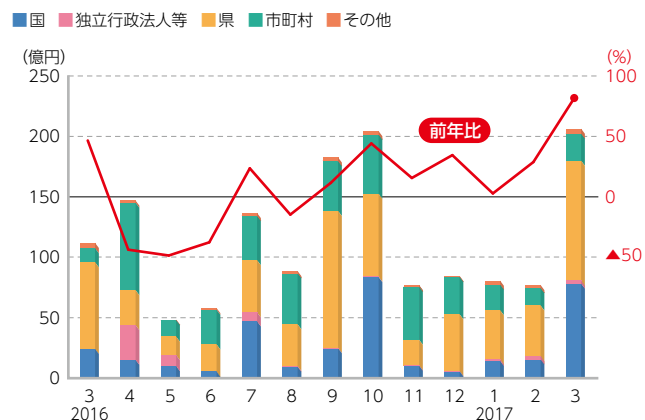
4.公共工事 | 7ヵ月連続で前年を上回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比40.3%増の432件、金額が同82.6%増の206億円となりました。

発注者別では、空港土木施設工事の大型案件があった「国」や、スポーツ施設新築工事の大型案件があった「県」等が前年を大きく上回り、全体でも7ヵ月連続で前年を上回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



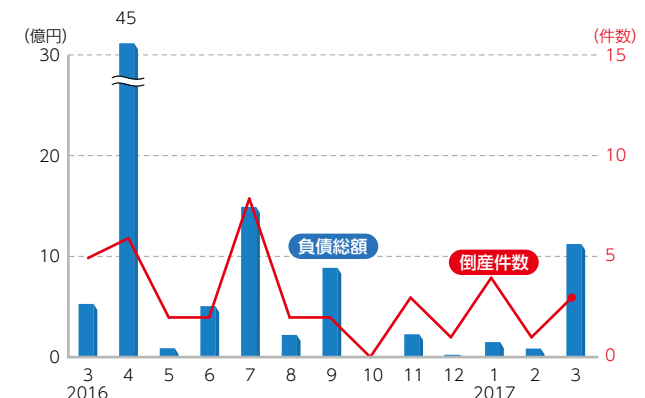
5.企業倒産 | 6ヵ月ぶりに前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40.0%減の3件、負債総額は約11億円となりました。

業務請負業で約10億円の大型倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



宮崎県の最近の経済動向

宮崎県の景気 | 底堅く推移している

宮崎県の景気は、生産活動に弱さがみられるものの、個人消費は持ち直している状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

住宅建設及び公共工事が前年を下回ったほか、生産活動についても食料品が低下する等、弱含みの兆しがみられます。一方で、個人消費は飲食料品や化粧品が前年を上回る等、持ち直しの動きがみられます。

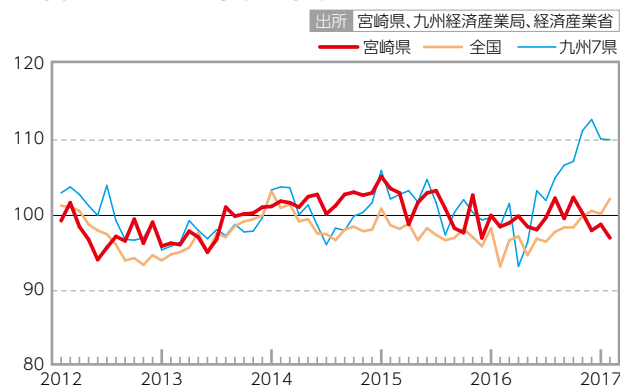
(諸隈 あきこ)

1. 生産活動 | 弱含みの兆しがみられる

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.0と前月比1.8%低下しました。

主要業種では、はん用・生産用・業務用機械は上昇したものの、食料品が低下する等、生産は弱含みの兆しがみられます。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

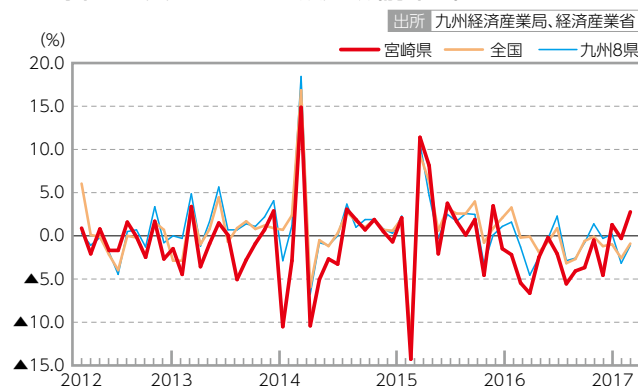


2. 個人消費 | 持ち直しの動きがみられる

3月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.8%増の59億円となりました。

主力の衣料品は前年を下回ったものの、飲食料品や化粧品が前年を上回る等、個人消費は持ち直しの動きがみられます。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





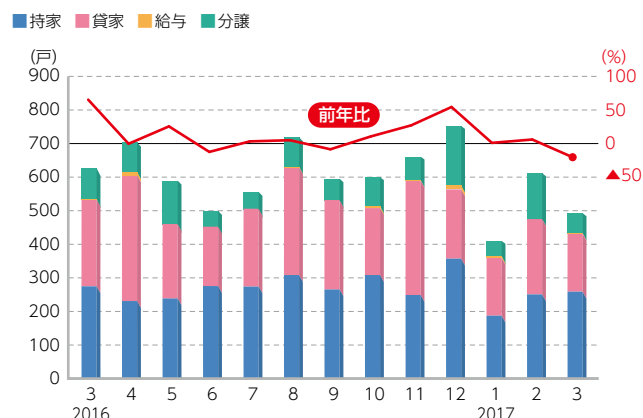
3.住宅建設 | 6ヵ月ぶりに前年を下回る

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比21.4%減の496戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回り、全体でも6ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



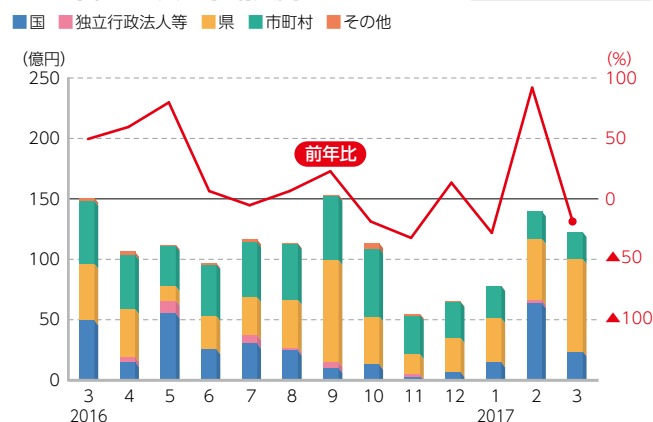
4.公共工事 | 2ヵ月ぶりに前年を下回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比50.2%増の440件、金額が同18.8%減の123億円となりました。

発注者別では、トンネル工事があった「県」が前年を上回りましたが、「国」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回り、全体でも2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



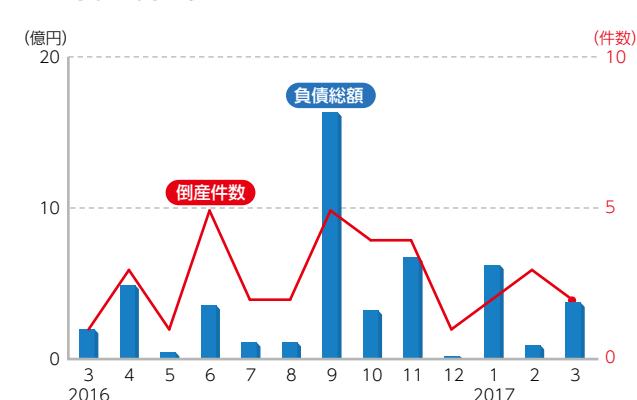
5.企業倒産 | 3ヵ月連続で前年を上回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年2倍の2件、負債総額は前年同月比89.0%増の約4億円となりました。

農業で約3億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



鹿児島県の最近の経済動向

鹿児島県の景気 | 底堅く推移している

鹿児島県の景気は、個人消費に弱さがみられるものの、生産活動は底堅い状況にある等、総じてみると底堅く推移しています。

住宅建設が5ヵ月連続で前年を下回ったほか、個人消費についても主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、弱含みの兆しがみられます。一方で、生産活動は窯業・土石製品が上昇する等、底堅く推移しているほか、公共工事についても前年を上回る状況が続いています。

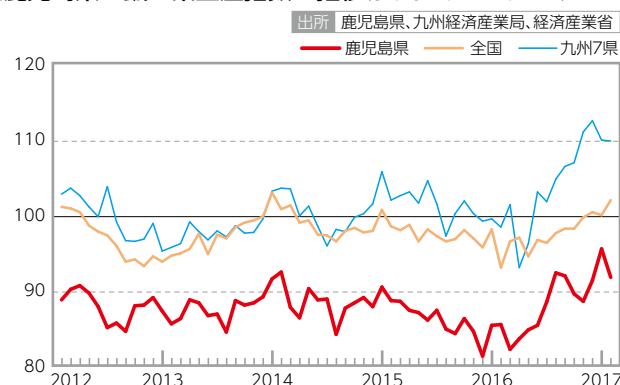
(諸隈 あきこ)

1.生産活動 | 底堅く推移している

2月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は91.9と前月比4.0%低下しました。

主要業種では、食料品が低下したものの、窯業・土石製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

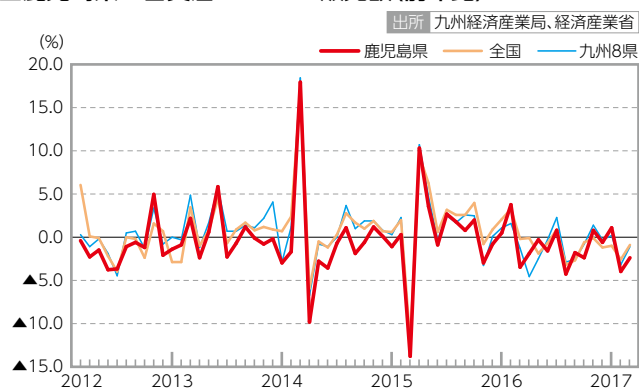


2.個人消費 | 底堅く推移している

3月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.4%減の123億円となりました。

高級品に動きがみられたものの、主力の衣料品や飲食料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





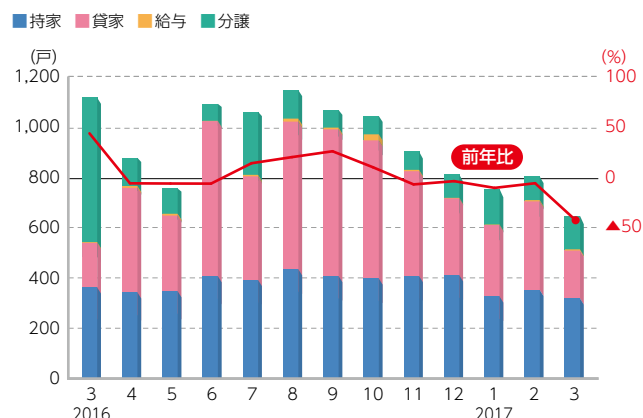
3.住宅建設 | 5ヵ月連続で前年を下回る

3月の新設住宅着工戸数は、前年同月比42.0%減の651戸となりました。

「貸家」「給与」が前年を上回ったものの、「持家」「分譲」が前年を下回り、全体でも5ヵ月連続で前年を下回りました。

■鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



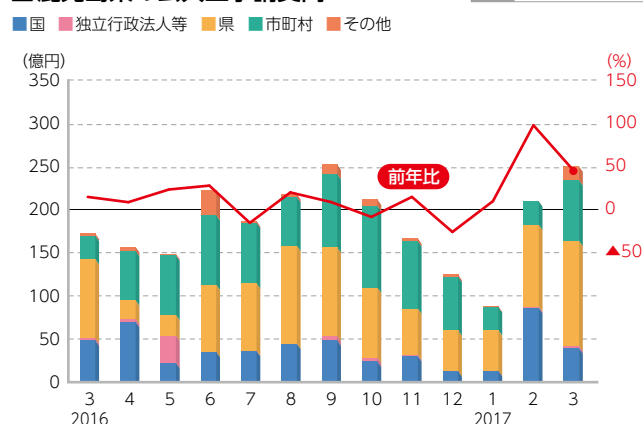
4.公共工事 | 3ヵ月連続で前年を上回る

3月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比21.3%増の729件、金額が同45.3%増の252億円となりました。

発注者別では、道路整備工事があった「県」や、衛生施設設備工事の大型案件があった「市町村」等が前年を上回り、全体でも3ヵ月連続で前年を上回りました。

■鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

3月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比16.7%減の5件、負債総額は同57.9%減の約10億円となりました。

飲料製造業で約8億円の倒産が発生したほか、配電盤製造業で約2億円の倒産が発生しましたが、倒産件数、負債総額ともに前年を下回りました。

■鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

